

クラスの様子【2月号】

●ひよこ組 今月の目標 友達や保育士に自分から関わろうとし、模倣遊びを楽しむ。

1月は這い這いだった子が歩けるようになったり、つかまり立ちをするようになったりと成長を感じる場面がたくさんありました。身体の成長だけでなく、お友達と追いかけてっこをしたり、一緒にお人形のオムツを換える真似をしたりと心の成長も感じることができました。少しずつ自分だけでなくお友達を意識し関わる姿は微笑ましく私たちも笑顔になります。お友達と関わりたい子どもの思いを大切に、私たちが生活者モデルになれるように保育をしていきたいと思えます。(片岡)



●りす組(もも) 今月の目標 友達との関わりを深め、いろいろな活動を楽しむ。

天気の良い日には、お散歩に出掛け、友達と手を繋いで歩いたり、追いかけてっこをして走ったりと元気いっぱい身体を動かしています。戸外での活動を通して、すれ違う人にも「こんにちは」と挨拶をしたりと周りの人にも目を向け、関わろうとする姿も見られるようになり、成長を感じました。また、製作では節分に向けて鬼のお面作りをしました。クレヨンや絵の具を使い、「～みたい」とそれぞれが想像して描いていました。今までの経験からクレヨンの握り方や絵の具の筆の持ち方もとても上手になりました。これからも子ども達一人ひとりの成長をそばで見守りながら、関わっていききたいと思えます。(三浦)



●りす組(いちご) 今月の目標 寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ。基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことを自らしようとする。

暖冬と言われてきましたが、1月は、雪が降り積もり、吹く風の冷たさも肌で感じられる日がありました。雪を見た子ども達は、「うわー、ゆきや!」「すごいな」「まっしろやな」「さむいな」「つめたいな」と、それぞれに見たり感じた事を言葉に表し、子ども達同士でも会話を楽しんでいました。外に出られない時は、タライに雪を入れて室内で触れてみたり、散歩に出かけて周りの景色をみたり、残った雪を触ったり、足で踏んで遊ぶこともできました。子ども達にとって貴重な経験になったと思えます。今年度も残すところわずかになってきました。園での毎日の生活の中で、一人ひとりの成長が感じられる場面が増えてきました。そういった姿を、保育参加で見て、感じて頂きたいと考えていますのでよろしくごお願い致します。(伊達)



●うさぎ組 今月の目標 手洗い、うがいをしっかり行い、風邪予防に努める。年上の友達に遊んでもらい関わりを持つ。

お正月明けには、凧やコマ作りをして楽しみました。自分で作った凧を持って嬉しそうに園庭を走り回ったり、コマ回しでは絵付けした模様が浮かぶと「わ～きれい!」と喜び、夢中になって何度も回していました。28日のお遊戯会に向けての練習では、お家の人に見てもらおうことを楽しみに毎日練習してきました。本番ではいつもと違う雰囲気です少し緊張も見られましたが、戸惑うことなくいつも通り楽しく参加することができました。いよいようさぎ組もあと2カ月。幼児クラスに遊びに行ったり、給食を食べに行ったりと、異年齢クラスとの交流をしていきたいと思えます。(柴田・市川)



クラスの様子【2月号】

●とちのき組 今月の目標 友達との生活や遊びの中で、自分達の作ったきまりを守る。

一年の大イベント、おゆうぎ会も無事に終わりました。大舞台上で堂々と表現した子ども達の背景には、これまで積み上げてきた努力と、異年齢児保育だからこそみられた仲間との絆がありました。おゆうぎ会では、グループにわかれ、音楽に合わせてストレッチをする事になり、今まで保育の中でしてきたストレッチより少し難しく、特に年少児は、お兄ちゃんお姉ちゃん達についていこうと、毎日必死になって練習をしました。年長児は「こっちの足出すの」「そう！できた！」と分からない子に優しく教えてあげたり、成功した喜びを共感したりと、子ども同士の関係が練習を通してより一層深まっていきました。こうした関わりから自然に思いやりの心が育っていくのだと感じました。大勢の人の前に立つ事は、大人でも緊張しますが、まだ小さい子ども達が舞台上に立ち、沢山の人の感動を与えてくれました。この経験をこれからの自信につなげていって欲しいと思います。(坂)



●くぬぎ組 今月の目標 興味を持った事にじっくりと取り組み、繰り返し挑戦したり、試したりする。

一生懸命取り組んできたおゆうぎ会も終わり、「ドキドキしたけど楽しかったな！」「面白かった！」と本番の事をお友達と振り返ったり、「もう一回したい！」「ライオンさんのダンスしたい！」と生き活きとした表情で話をしていました。一つの大きな行事を通して充実感、達成感を味わい、また、沢山の人の頑張ってきたことを見てもらえて、「上手だったよ」「かっこよかったよ」と声を掛けてもらうことで自信へとつながっていると感じました。緊張も楽しさも全部吸収して大きな成長へとつながられる子ども達の姿にととても嬉しく思いました。2月からは異年齢クラスでの活動も徐々に減り、年齢別での活動の中で進級に向けて準備をしていきます。お友達と様々な関係を築きながら、楽しく過ごしてほしいと思います。(田中)



●さくら組 今月の目標 寒さを全身で感じながら、元気いっぱい遊んだり自然の変化に気付いたりする。

一大イベントのおゆうぎ会が終わりました。おゆうぎ会を心待ちにしていた子どもたち。本番は誰ひとり欠けることなく、全員で舞台上に立ことができました。私たち保育士の予想をはるかに超えた力を発揮してくれ、子どもたちの力の大きさを改めて感じました。舞台上の姿には個人差があったかもしれませんが、それぞれ、その子なりに精一杯頑張ったと思います。おうちの方も、子どもたちの頑張りを十分に認め、褒めてあげてください。また、舞台上では、年長年中児が年少児を並べてくれたり、息を合わせてセリフを言ったりと、異年齢の関わりもたくさん見て頂けたと思います。おゆうぎ会での経験や友だちとの関わりが、子どもたちの成長に繋がってくれていたらと思います。(黒宮)

